



報道発表資料の配信日時 1月18日(水) 10時00分

発表項目 (行事名)	「令和4年度 未来へつなぐ！北国のいきもの守りたい賞」受賞者決定について												
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者											
		発表場所											
概要	<p>【ポイント】 道では、生物多様性の保全及び持続可能な利用を推進するため、道内で生物多様性の保全等に関する優れた活動・模範的な活動を行う企業、団体、個人を表彰しています。 この度、令和4年度の受賞者を決定しましたので、お知らせします。</p>												
	<p>1 受賞者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>受賞者名</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業部門</td> <td>応募なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">一般部門</td> <td>野幌森林公園を守る会</td> <td>江別市</td> </tr> <tr> <td>やまもと ゆき 山本 友紀</td> <td>網走市</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 表彰式等 表彰式及び受賞者による活動発表を、「世界自然遺産・知床の日記念行事 しれとこ大百科」の中で行う予定です。 (1) 日時 令和5年(2023年)1月29日(日)14:30～16:30 (2) 場所 ホテルライフオーブ札幌 2階 ライフオーブホールII (札幌市中央区南10条西1丁目) (3) 内容 ア 表彰式・記念撮影 「未来へつなぐ！北国のいきもの守りたい賞」 イ 受賞者活動発表 ウ 講演 (4) 道側出席者 環境生活部長、自然環境局長 ほか (5) その他 参加には申込みが必要(定員50名)。</p> <p>3 道HPのURL https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/hyousyou/main.html</p>			区分	受賞者名	所在地	企業部門	応募なし		一般部門	野幌森林公園を守る会	江別市	やまもと ゆき 山本 友紀
区分	受賞者名	所在地											
企業部門	応募なし												
一般部門	野幌森林公園を守る会	江別市											
	やまもと ゆき 山本 友紀	網走市											
参考													
報道(取材)に当たってのお願い	受賞者の功績を道民の皆様へ広く認知いただけるよう、積極的な報道についてよろしくお願いします。												
他のクラブとの関係	同時配信	道政記者クラブ											
	同時レク	オホーツク総合振興局											
担当(連絡先)	環境生活部 自然環境局 自然環境課 企画調整係 (担当者: 課長補佐 橋本) TEL: 011-231-4111 (内線24-352) ダイアルイン: 011-204-5203												

世界自然遺産・知床の日記念行事

しれとこ大百科

参加無料
(要申込)

日時 令和5年1月29日(日) 14:30~16:30

場所 ホテルライフオーブ札幌 2階「ライフオーブホールII」



冬の知床五湖

プログラム

14:30 表彰式・記念撮影
「未来へつなぐ!北国のいきもの守りたい賞」

14:50 受賞者活動発表

15:25 講演

「知床の日」と知床ブランディング
～知床サステナブルと知床トコさんとともに



講師: 初海 淳氏

(知床・斜里町・地域プロジェクトマネージャー)



(札幌市中央区南10条西1丁目)

参加申込・お問合わせ先: 北海道環境生活部自然環境局自然環境課

Tel : 011-204-5204

Mail : kansei.shizen1@pref.hokkaido.lg.jp

※ 定員になり次第締め切らせていただきます。(先着50名)

未来へつなぐ！北国のいきもの守りたい賞 受賞者紹介

「未来へつなぐ！北国のいきもの守りたい賞」とは、道内で生物多様性の保全等に関し、優れた活動・模範的な活動を行う企業、団体等を表彰するものです。

野幌森林公園を守る会

野幌森林公園におけるクマゲラ保全の活動及び生息環境調査

野幌森林公園内における天然林伐採等による生態系の破壊を憂慮する市民有志が集い、「野幌森林公園を守る会」が誕生しました。

将来にわたりクマゲラが棲むことのできる自然度の高い貴重な平地天然林の保護と森林利用を両立し、一人でも多くの市民に野幌森林公園の自然のすばらしさを知ってもらうことを目的に活動を続けています。

活動の柱としてクマゲラ一斉調査を昭和62年から、毎年3月に行っており、これまでに33回実施しています(令和2～4年は新型コロナウイルス感染症対策により中止)。

また、クマゲラの生息環境で重要と考えられる巨木の調査を行うなど、クマゲラ生息地保全にも力を入れています。



山本 友紀 氏

傷病鳥獣保護協力者の活動

地域で保護された傷病野生鳥獣を受け入れ、野生復帰させることのみならず、野生復帰後の生存率を高くすることを目的に、適切な飼養管理を行っています。雛で保護された個体は成長し飛翔力がつくまで、怪我をした個体は回復するまで、種の習性や個体ごとの状態を考慮し行っています。

この活動の中では、保護個体が自然に近い状態で過ごせるよう、羽ばたくなどの運動を行うための十分なスペースを有する小屋を自宅の庭に設置するなど、個体のQOL(Quality of Life | 生活の質)に配慮して行っています。

また、この活動を行う中で、よりよい管理方法や治療方法を模索するなど、少しでも多くの個体を野生復帰に導けるよう活動に取り組んでいます。



注意事項

- ◎ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、開催中止とさせていただく場合があります。
- ◎ 次の症状等がある場合は、当日の来場をお控えください。
 - 新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある場合、または可能性がある場合
 - 平熱より高い場合
 - 咳など風邪症状がある場合
- ◎ ご来場の際にはマスクの着用と手指の消毒等にご協力ください。
- ◎ 氏名及び連絡先は必要に応じて保健所等に提供する場合があります。